

広報

# なぎじん

No. 91

1983年6月

村章

(毎月1日発行)



### ▲勢理客の琉球松並木

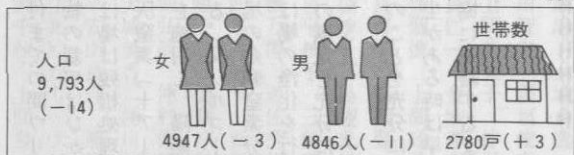
今帰仁で風景写真を撮ると、松が写らない場所はないという。誇張かも知れないが、それだけ松が多いということだろう。仲原馬場を始め、村内の各ムラムラには街路樹として、また防風林としての松並木が多い。何百年も経て脈々と生きる松を見るにつけ、先人の偉大な思想と技術をうかがい知ることができる。

それでも、戦禍で暴風で害虫で倒れ、今また土地改良で倒された松も少くない。生産の手段として自然が破壊されることは皮肉なことではあるが……。

この勢理客の松も、以前は役場(運天)までの街路樹として親しまれたといい、おそらく何百本もあったことだろう。今でもわずかではあるが、往時の面影を残している。

今帰仁村の人口

昭和58年4月30日現在



- 二 注意 すいかウィルス蔓延 対策に充分な注意を できたぞ僕らの遊び場が
- 三 シャンクルーフなど湧川小中にお目見え
- 四 五周年を迎えた商工会青年部 記念事業などを決議
- 五 兼次、越地、天底で
- 六 盗犯防止推進協議会を結成 独自でゲートボール場建設
- 七 渡喜仁出身の喜屋武康勝氏 村民コーナー私の一言
- 八 不沈空母への乗船はご免
- 九 字兼次五七 玉城 鎮夫
- 十 古文書への招待 ⑤ 薩摩軍今きじん通過記録
- 十一 若き後継者たち ⑫ 菊づくりに意欲的な 渡喜仁の豊里毅さん
- 十二 村内の美化にご協力を 六月五日・十一日は環境週間です。

今月の主な内容

注意

# すいかウイルス蔓延

## 対策に十分な配慮を

昨年十一月以来、すいかウイルスが発生し、栽培農家に脅威を与えている。すいかウイルスの特徴は、葉が萎縮、節幹が短くなり、実が生長しないなどで、



ウイルスについては関係機関で研究中で、これといった究明はなされていない。これまでの研究結果では、現在知られているウイルスより小さく球状という点で、発病までの潜伏期間が一カ月と長い

に大きな打撃を与えるものと思われ、対策が急務となっている。研究機関でもその対策にのり出しているが、夏場を前に各農家においても充分注意を払うよう農協や農業試験場では呼びかけている。

### すいかのウイルス対策

- 一、発病株は、早期に抜き取り焼却する。
- 二、アブラムシ、スリップス等の防虫対策を充分に行う。特にカンレイシヤ張りにし、発病に充分に注意する。
- 三、農作業にあたっては、手及び器具類を第三燐酸ソーダ十%で消毒する。
- 四、発病ほ場から他のほ場に移動する時は、アブラムシ等の附着がないか充分に注意する。
- 五、すいかの切りもどし栽培はさける。
- 六、発病ほ場は、可能なかぎり次期作付までの間ウリ科、ナス科植物の栽培はひかえる。
- 七、発病ほ場は残根処理を行う。更に石灰窒素(十アール当百キロ)を施用し、陽熱処理を実施する。又ソルゴーを播種し、ほ場の余剰窒素分を吸収させ、ほ場の浄化を行う。
- 八、品種の選定を充分に検討する。

## 古宇利に待望の医師

古宇利に待望の医師がやってきた。赴任したのは、栗国出身でこれまで県立那覇病院附属栗国診療所におられた上原信康医師(六十歳)。発令は五月一日、県立名護病院附属古宇利診療所に医師が派遣されたのは、昭和五十五年十二月以来実に二年半ぶりのこと。村や字では機会あるごとに派遣を要請していたもので、県ではこれに応え五十七年四月からは月二回の巡回診療を実施してきた。それでも医師不在は離島である古宇利にとってすべての面で不便をかこつてきた。

古宇利に待望の医師がやってきた。赴任したのは、栗国出身でこれまで県立那覇病院附属栗国診療所におられた上原信康医師(六十歳)。発令は五月一日、県立名護病院附属古宇利診療所に医師が派遣されたのは、昭和五十五年十二月以来実に二年半ぶりのこと。村や字では機会あるごとに派遣を要請していたもので、県ではこれに応え五十七年四月からは月二回の巡回診療を実施してきた。それでも医師不在は離島である古宇利にとってすべての面で不便をかこつてきた。赴任したのは、栗国出身でこれまで県立那覇病院附属栗国診療所におられた上原信康医師(六十歳)。発令は五月一日、県立名護病院附属古宇利診療所に医師が派遣されたのは、昭和五十五年十二月以来実に二年半ぶりのこと。村や字では機会あるごとに派遣を要請していたもので、県ではこれに応え五十七年四月からは月二回の巡回診療を実施してきた。それでも医師不在は離島である古宇利にとってすべての面で不便をかこつてきた。



▲歓迎式で花束を贈呈される上原医師(右)

そのダメージは大きい。村の本土出荷実績も目標の93%に終わった。また、露地物もほぼ全滅に近い状態だ。すいかの本場である我が村にとって、その対策が今後の課題といえる。

このままではいくと、農業全般

## できたぞ 僕らの遊び場が

### ジャングルロープなど 湧川小中にお目見え



ワイイ、はくらの遊び場ができたぞ。と子どもたちは大喜び、ジャングルロープに昇ったり、丸太棒を渡ったり、楽しそうだ。湧川小中学校(金城 清校長、生徒数一四〇人)において、このほど遊具施設が完成した。同校PTAが昨年十二月に設置委員会を発足させて以来、約半年ぶりにできあがったもの。

タイヤ群あり、芝生斜面マットあり、すべり台あり、渡りロープありで、ちよつとした遊園地並み。他の学校には見られない豪華さだ。しかも単なる遊びだけでなく、平行感覚を養い遊びながら運動できる内容がおり

▲色々な道具が揃った湧川小中学校

## 十七カ字で結成

### 村子ども会育成連絡協議会

村子ども会育成連絡協議会結成大会が、五月二十一日午後二時から役場ホールで行われた。子ども会は、自主的な活動を通じて心身をきたえ、社会に役立つ人間形成を図ろうというもの。村内では、昨年度に今泊・仲宗根・天底・湧川の四カ字で結成されており、今日は残り十五字のうち十三字の結成。



大会では、結成までの経過説明に続き役員が選出され、村子ども会長に喜屋武清美さん(仲宗根) 副会長に玉城和也さん(今泊) 久田多希子さん(天底) が決まった。また村育成会長に三輪茂穂さん(仲宗根) 副会長に知念孝俊さん(湧川) 仲村渠勝己さん(天底) がそれぞれ選

# 五周年を迎えた商工会青年部 記念事業など決議



運動方針などを決めた通常総会

村商工会青年部(部員二十五人)では、五月十日午後七時から梯梧荘で「第五回通常総会」を開いた。総会は、〇地域に密着した青年部活動を強力に推進しよう、〇青年部の飛躍が街の発展、をスローガンに行われ、活動の強化を誓い合うとともに新役員、新年度事業、予算などを決定した。

その結果、部長に大嶺英元、副部長に平安常弘・岸本好功、監事に喜屋武浩・諸喜田守、広報委員に島袋健、企画委員に大嶺正徳、教養文化委員に大城清政、親睦委員に平良正利の各氏を選出された。そのほか、事業

として毎月の理事会、定例会を始め、美化作業(プランター設置、海浜清掃)五周年記念誌発行、記念運動会、先進地視察、講習会を行うことを決定。また総会では、五十三年の設

## 盛大に国民友の会総会 会員も七五〇名に

今帰仁村国民年金友の会(山城清福会長、会員七五〇名)では、五月十三日午後二時から役場ホールで五十八年度総会を開いた。友の会は五十七年四月に結成されており、会員が相互の親睦と交流を図り明るく豊かな老後を送ろうというもの。

村の国民年金受給者は、提出・福祉あわせて千六百人余で、年間五億八千万円の年金を受給しており、老後の生活安定に大きく寄与している。総会では、山城会長のあいさつ(写真)の後、会則の一部改正・五十七年度決算承認・五十八年度事



年金支給の総会

業及び予算が決定した。また来賓の松田村長は「年金の大切さは受給している皆様がよく知っており、若い人も指導して村から無年金者を無くするよう協力してほしい」とあいさつした。その他、大城国民年金課長、山城名護社会保険事務所長が祝辞を述べた。

## 仲尾次保育所に 新職員

村では、四月末に退職された上間春枝さん(仲尾次保育所保母)の後任として、五月一日付で仲尾次保育所保母に仲宗根美津子(二十一歳、字今泊三〇六三)を採用しました。皆さん、よろしくお願ひいたします。



▲仲尾次保育所保母 仲宗根美津子

## 汗を流すって楽しいね 今泊青年会が美化作業

今泊青年会(仲本満会長、会員四十名)では、五月八日(日)に字のヌンドウルチモの草刈作業とヤシ十本の植樹を行った。このモは、県道本部循環線沿いの高台にあり、松の原木がそびえる風光明媚の地。昔から同字ゆかりの地として、戦中での出兵の見送りや字の集会等に使われていたという。ところが最近では利用者が少く、雑草が生い茂っていた。こ

れを見た青年会では「字をきれいにするのも活動の一環」と、朝早くから夕方まで汗を流したもので、約二十名の会員が参加。ヤシの木は村に提供してもらった。お陰で同地は見違えるほどきれいになり、松とヤシの緑が青空に一段と映えていた。今泊青年会では活動が盛んで、青年会館の建設のほか、相撲大



▲作業を終わって勢揃いする 会員の皆さん

## 事件の発生は一一〇番・犯罪現場はそのままに・必ず届け出を 兼次・越地・天底で 盗犯防止推進協議会を結成

村内字兼次・越地・天底地区の「盗犯防止重点地区推進協議会結成大会」が、四月二十五日午後七時から中央公民館で行わ



▲盗犯防止をめざして行われた大会

れた。これは過去において特に盗犯罪が多かった同地区における警察活動を集中的かつ継続的に展開し盗犯の抑止を図ろうというもので、主催は本部警察署と本部地区防犯協会。ほかに、防犯意識の高揚や防犯環境の改善等、防犯対策の推進をねらいとしている。大会には、三字住民や関係者約百人が参加し、西里俊夫本部署長、松田村長のあいさつ、大会決議等が行われた。同協議会の指定期間は、四月一日から五十九年三月三十一日までの一カ年。その間の盗犯抑止目標は、五十七年度発生(二三件)の十

%減とし、特に侵入盗犯のうち発生率の高い「あき果」「忍び込み」等に対する防犯対策を推進していくことにしている。その他推進委員として、〇山城昌真(兼次)〇宮里政常(越地)〇島袋政春(越地)〇与那栄順(天底)〇高山朝嗣(天底)の五氏が本部警察署長より委嘱された。本部署では、今回結成された推進協議会とタイアップし、実態は握、防犯診断、集中警戒・警ら、広報活動等を行うことにしている。

グラジオラス、カスミ草、スターチス、カーネーションと多彩。今帰仁支部(真栄田修支部長、会員四五名)からも四十点が出品された。そのうち、渡久山幸雄さん(大菊・金丸富士)が沖縄県知事賞、真栄田修さん(グラジオラス)が沖縄県農林水産部賞、伊良波幸宏さん(小菊・沖姫)が沖縄総合事務局農林水産部長賞を受賞。その他上位に村内組合員が入賞し、今帰仁銘柄の優秀さを意識づけた。

入賞者は表のとおりだが、会員の方には今後ますます研さんを深め、品質の向上に努めてほしいものである。

## 花の展覧会で上位を独占 村の花きの優秀さ実証

去る三月四日から七日まで行われた「第五回沖縄県花の展覧会」(太陽の花・沖縄県花卉園芸農協主催)において、村内出品の花きが上位を独占、今帰仁

産の優秀さを内外に知らしめた。「花が伝えるあなたの真心」をテーマにした展覧会には、三六〇人の組合員から三五〇点余が出品。種類も、小菊、大菊、

グラジオラス、カスミ草、スターチス、カーネーションと多彩。今帰仁支部(真栄田修支部長、会員四五名)からも四十点が出品された。そのうち、渡久山幸雄さん(大菊・金丸富士)が沖縄県知事賞、真栄田修さん(グラジオラス)が沖縄県農林水産部賞、伊良波幸宏さん(小菊・沖姫)が沖縄総合事務局農林水産部長賞を受賞。その他上位に村内組合員が入賞し、今帰仁銘柄の優秀さを意識づけた。

### 字別、手口別、盗犯発生状況

手口	字名	総数		兼次		越地		天底	
		56年	57年	56年	57年	56年	57年	56年	57年
総数		6	23	2	7	0	8	4	8
空巣	狙い	1	1		1			1	
忍込	み		5				3		2
学校	荒し	1	3				2	1	1
金庫	破り	1	1						1
車上	狙い		3				1		2
自動車	盗	2	2	2	2				
オート	バイ盗	1	3		1			1	2
ガソリン	盗		3		3				
その他		1	2				2	1	



▲県知事賞を受賞した、渡久山幸雄さんの大菊

賞名	氏名	品名	字名
沖縄県知事賞	渡久山幸雄	大菊・金丸富士	運天
沖縄県農林水産部長賞	真栄田修	グラジオラス	天底
沖縄総合事務局農林水産部長賞	伊良波幸宏	小菊・沖姫	呉我山

賞名	氏名	品名	字名
金賞	渡久山幸雄	大菊・金丸富士	運天
"	金城俊雄	大菊・大平	渡喜仁
"	仲原隆信	小菊・メゴールド	勢理客
"	高江州安美	小菊・目白	湧川
"	伊良波幸宏	小菊・沖姫	呉我山
"	嶺井政順	リアトリス	呉我山
"	真栄田修	グラジオラス	天底
銀賞	渡久山稔	大菊・金丸富士	運天
特)日本花き卸売市場協会会長賞	岸本本弘	デンファレ	呉我山
特)金沢花市場協会会長賞	伊良波幸春	サンダンカ	呉我山

# 春たけなわスポーツの季節

## 体協行事にぎわう

### 第十回職域バレー

村体協主催の「第十回職域バレー大会」は、五月二十二日北山高体育館で行われ、男子―北山高職員、女子―光武病院がそれぞれ優勝を飾った。男子の部には光武病院、丸内重機、商工会、嶺井造園、農協、役場、北糖の八チーム、女子の部には農協、光武病院、役場の三チームが出場。男子トーナメント、女子はリーグ戦が行われた(写真)。

男子の部決勝戦では、北山高職員と光武病院が対戦。激戦の末二対一で北山高が優勝した。また女子は二戦全勝の光武病院が優勝。二位は農協の順位。

なお、十回大会を記念して個人表彰が行われ、役場の玉城之



### 第二回職域ソフトボール

村体協の第二回職域ソフトボール大会は、四月二十四日から二十七日までの四日間にわたり

### 新役員などを選出

総会を行った村青年会

地域に根ざした活動を進め学習しよう―など六つのスローガンを掲げた村青年会(会員三百名)の八三年度総会が、五月二十三日午後七時半から役場ホールで行われた(写真下)。

大会には約六十名の会員が参加。一年間の総括・決算、新年度の運動方針を決議した。今年度の活動としては、機関紙発行、青年祭、演劇公演、スポーツ大会などが計画され、各部毎に活動を強化していくことを決定した。役員改選では、吉田清尊会長が留任したほか、副会長に謝花喜洋・西島清美、事務局長に小那覇安隆、書記に神谷正、会計に金城正明の各氏が就任した。



なお、来賓として大会に参加した松田村長、玉城議長は「青年らしい若さと行動力で、村でくりの中核団体として頑張ってほしい」と激励していた。

### 独自でゲートボール場新設

渡喜仁出身の喜屋武康勝氏

字渡喜仁では、昨年度に那覇在住の豊里友一氏の好意で同氏の所有地をゲートボール場として開設し、多くの字民に利用されていますが、このたび同じく出身で那覇在住の喜屋武康勝氏が、数十万円の費用を投じ、実家前にゲートボール場を建設し、字民に喜ばれています。

喜屋武氏は、実家に今年八十七歳になる母親がおられ「母親や字のお年寄りが健康で長生きしてほしい」との気持ちで広場を作



### 島袋喜厚氏に春の叙勲



四月二十九日、恒例の春の叙勲が発表されました。沖繩関係者は二十二名で、そのうち村内から島袋喜厚氏(七十六歳、字仲宗根二一〇)が勲五等双光旭日章を受章されました。

島袋氏は、昭和二年師範二部卒業後教職に携わり、古宇利初校長、伊豆味小中学校、今帰仁小校長、兼次小中学校、今帰仁中学校を歴任。昭和四十六年勲退されるまで、村内外の学校教育の振興発展に尽くされました。その後は、昭和五十年刊行された「今帰仁村史」の編集委員長として活躍。昭和五十六年三月には村政功労者として表彰されています。



昭和十二年七月七日の蘆溝橋事変の勃発は支那事変と拡大し、昭和十六年十二月八日の真珠湾攻撃と大東亜戦争へ。昭和十九年から沖繩にも友軍と共に多量の兵器を持ち込み、老婆までも動員し、若者は現役、護郷隊、防衛隊に、徴用には老人まで召集され、交通壕、避難壕、飛行場、砲壘を建設。兵隊は各地に駐屯し陣地や基地を強化し、疎開人員の犠牲、友軍は沖繩を守るためにきた、鬼畜米英を水際でぜん滅させる、一人たりとも絶対に沖繩には上陸させないと豪語し、少ない県民の食糧を強制供出。昭和十九年十月十日の大空襲を友軍の演習と言ひ、機銃、焼夷(い)弾、爆弾が雨霰し投下されあふたと避難する

## 不沈空母への乗船はご免

字兼次五七

玉城鎮夫 (七十歳・民生委員、文化財保護委員)

ついに昭和二十年四月一日、歴史的米軍の上陸を容易にさせ、至る所で激戦が展開。陸海空より十字攻撃を受け地球よりも重い二十万余の人命が戦場の露と消え失せた。もし日本軍の諸々の陣地や基地が無かつたらあれだけ多くの人畜の犠牲や地上万物の破壊や消失、さらに二十七年間の長期異民族の支配、それに加えて米兵による諸々の悪質犯罪は起きなかつたらう。

人間の真の平和とは日常お金があり、美衣美食で豪華な住まいにせいで暮らせばよいというものではない。今一度県民は胸に手を当てて熟慮し、さらに回顧する義務があるのではなからうか。

われわれの子々孫々のためにも、ノド元過ぎればなんとやら、今後風見鶏の船頭さんの舟に乗り呉越同舟の危険迫るこのころ、しかし同舟を喜ぶ人も多いから益々危険増大の感あり、歴史は



このコーナーは、村民の皆さんの日頃感じている意見発表の場です。村政に対する要望や家庭のこと、将来の希望など何でも結構です。村役場総務課秘書広報係までお寄せ下さい。

なお、ご意見は四百字詰原稿用紙二枚程度で、住所、氏名、職業を添えて下さい。※あて先 今帰仁村字仲宗根二一九村役場総務課秘書広報係 (TEL: 211-011)

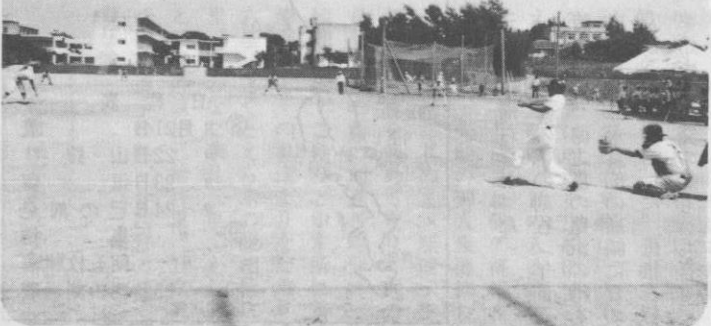
### 沖水・名護両校を招き

### グラウンド開きを行う

拡張なった北山高運動場

県立北山高(上原直吉校長)では、沖繩水産高校、名護高校野球部を招いて、五月九日正午から同校において「三校対抗野球大会」を開催した。これは同校のグラウンドの拡張を記念したグラウンド開きとして行われたもの。

先の九州大会で準優勝の沖繩水産、北部リーグのライバル名護との試合とあって、北山ナイフもハッスル。第一試合北山―名護は二対〇で北山、第二試合沖繩水産―名護



# 古文書への招待

## 薩摩軍の今きじん通過記録 ⑤

読者へ

先月号のはしがきで「喜安日記」にふれたところ、それに就いての質問をいただきました。慶長の琉球渡海についての最も信頼できる資料として、わたしは「市来文書」を二つに読んでいますが、一方、琉球側の唯一の資料とされるのがこの「喜安日記」なのです。これは原文はすでにないといわれていますが、活字なら那覇市史にも採録され、三二書房刊「日本庶民生活史料集成（第27巻）」にも、共に琉大の池宮正治先生の解題・校註で出版され、わが村の文化財委員会にもありますので、是非読まれるよう、おすすめします。内容についてここで詳しく紹介する余裕はありませんが、要するに一六〇九年三月から一六一一一年十月まで、足かけ三年の出来事を、尚寧王に茶道職として仕えていた喜安入道番元という人が書き綴った日記風の記録です。

薩摩軍の琉球入りを目撃し、尚寧王降伏から薩摩上国、江戸への往復、そして琉球への帰国まで、常に王の側近にいて、耳目に触れたこと、旅程などまさに足で書いた記録で、「市来文書」と立場は正反対ながらも、同一事件に立会った好一對の資料といつてよいでしょう。

さて来月号では薩摩軍は、今帰仁上陸というかたちで本島への一歩を印しますが、喜安はそれを親泊の海岸でむかえます。首里から他の和陸使節との同行です。もちろん「市来文書」の筆者と相会うことはありませんでしたし、両者は永遠にすれ違ったわけですが、別々の立場と行動が、同じ日に記されていることの不思議を思わずにはおれません。機会があれば、いつか「喜安日記」を二つに読みた

### 現代語訳および註記

着岸したのもこんな夜だったかと、三七四年前の同月同夜を想像してみました。古宇利や運天の人々、今帰仁城監守やその周囲の人々は、どんな思いで薩摩の、見馴れない鎧武者たちをみていたのかと。また粟粥を煮たのは、敵の足をすべらせるためでなく、実は悪魔払いの呪術用ではなかったか、とすればそれは断然笑話どころか、真実に無事平安を望む、懸命の庶民の知恵ではなかったか。そんなことを次から次へと考えながら、しばらく立ちつくしました。来月は今帰仁における薩摩軍の行動記録を読むこととなります。

廿一日に出船（原文前号末尾）で、十里ほど乗り出したら、少し向い風気味になり、結局はとれなくなったので、引き返し、亀沢というところへ着いた。少数の役人がいるところであるので、人家もかなりある。我々の船は多少先に進んでいるようである。

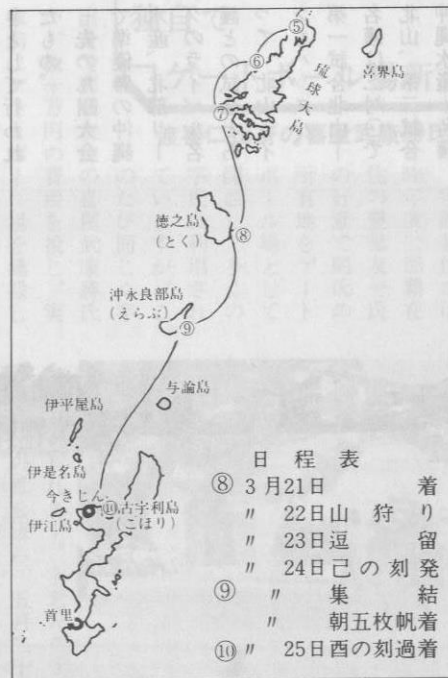
廿一日に出船（原文前号末尾）で、十里ほど乗り出したら、少し向い風気味になり、結局はとれなくなったので、引き返し、亀沢というところへ着いた。少数の役人がいるところであるので、人家もかなりある。我々の船は多少先に進んでいるようである。

三日には帰らなかつた。一、廿四日の己の刻程（午前十時頃）に、徳之島の亀沢の港を出船し、沖永良部の島崎に日の入るころに停泊した。枕権左様を始め、先発の船も待ち合せており、そのまま、琉球へ渡ることとなった。夜どおし走り、翌廿五日の酉の刻過ぎころ（夕刻六〜七時）、琉球のこほり<sup>⑧</sup>という所に着岸した。徳之島亀津から灘乗六里（二四キロほど）。徳之島と沖永良部の渡相拾八里。島の灘乗三里。沖永良部と琉球の渡相三拾八里。五枚帆二艘の追手の船は廿四日の朝、本隊へ帰ってきた。

未だ相知れず候。一、廿二日に、深山大勢にて御かり候。子細は亀沢の役人、山にかくれ居り候、御狩り出し成され候ために候処に、役人をかり出し、殊に琉球入番衆主取余儀無く人をからめとられ候。彼の人は三司官の内、謝納のむこにて候。きばち巻の位なる人を御取り候事。

一、廿三日、順風も無く御逗留候。昼時分より雨もふりさびしく候処に、琉球船二里程沖を大島の方のごとくかけ通し候を、五枚帆二艘にておはせ成され候。彼の追付のふね、廿三日には帰帆無く候事。

一、廿四日の己の刻程に、とくの内、亀さはの湊を出船にて、えらぶの島崎に、日の入る時分にと御か、り成され候。枕権左様を始め、先船の御人衆御待ち合せ成され、其のま、琉球へ御渡海候。夜を籠めて走り、次の日廿五日の酉の刻過ぎ時分に、琉球の内、こほりと申す所に着岸候。とくの亀津よりなだ乗り六里。とくとえらぶの渡相拾八里。島のなだ乗り三里。えらぶと琉球の渡相三拾八里。五枚帆式艘の追手の船、廿四日の朝、参り候。



にて十里程乗出候を、おしむいて後舟もよきに成作留  
とりと〜一船はと〜おに若〜一いりの役人の居り  
い〜方人取〜と〜先船は〜様程先取と様十艘程  
あるゆのぶ〜と〜浦は〜人〜私〜い〜と〜未だ  
一、廿二日に深山大勢にて御かり候。子細は亀沢の役人、山  
にかくれ居り候、御狩り出し成され候ために候処に、役人を  
かり出し、殊に琉球入番衆主取余儀無く人をからめとられ候。  
彼の人は三司官の内、謝納のむこにて候。きばち巻の位なる人  
を御取り候事。

一、廿三日、順風も無く御逗留候。昼時分より雨もふりさびしく候処に、琉球船二里程沖を大島の方のごとくかけ通し候を、五枚帆二艘にておはせ成され候。彼の追付のふね、廿三日には帰帆無く候事。

一、廿四日の己の刻程に、とくの内、亀さはの湊を出船にて、えらぶの島崎に、日の入る時分にと御か、り成され候。枕権左様を始め、先船の御人衆御待ち合せ成され、其のま、琉球へ御渡海候。夜を籠めて走り、次の日廿五日の酉の刻過ぎ時分に、琉球の内、こほりと申す所に着岸候。とくの亀津よりなだ乗り六里。とくとえらぶの渡相拾八里。島のなだ乗り三里。えらぶと琉球の渡相三拾八里。五枚帆式艘の追手の船、廿四日の朝、参り候。

村文化財保存調査委員 村上仁賢

# 若き後継者たち

12

## 菊づくりの意欲的な 渡喜仁の豊里毅さん



仕事でもいい。好きな趣味でもいい。何かに一筋に打ち込んで、卒業と同時に農業を始めた。現役ながらも、わき目もふらず花づくりに励む豊里毅さん(二十坪、さとうきび千七百坪、農協貸付牛三頭の複合経営を行って

いる。菊は大菊・小菊半々で、昨年五百ケース(約一万本)今年七百ケース(約一万四千本)と、着実に経営を伸ばしてきた。豊里家の経営で目につくことは、すべてに合理的な計算がされていること。これは土地や水利に恵まれているといること。水は自宅の井戸から汲み上げ、しかも畑が家の周りに集中しており、かんがいの心配は全くなし。また、畑の周りには牧草を植えて、草刈

の負担もない。その上堆肥づくりも万全で、すべて自給できるという。

菊づくりのコツについては、「土壌づくりと防除でしょう」と友房さん。農業経験四十数年という大ベテランだが、菊栽培はやっと三年で、毅さんが卒業と同時に始めた。それでも、長年農業一筋に歩んできた中で学んだ「労働をいとわないこと」という信念はいまでも持ち続ける。これは「指導されたことを実行するための骨おしみをしない」ことだという。父親を見て育った毅さんの中に、この教訓は生かされていくことだろう。

後継者育成資金、近代化資金を活用して、電照施設、機械類を講入。来年は四百坪ほど規模拡大をしたいとのこと。これで自立できる目途がついたともい、当分菊一本やりで頑張りたいと夢を語ってくれた。

花き栽培農家の労働時間は長い。今は苗や土づくりの準備期間だが、ピーク時は朝早くから夜遅くまで働く。厳しいけれどこれからもたくましく育ってほしいものだ。今帰仁の明日の農業を担っていくために。

写真―植付に向けて苗や土づくりをする豊里さん父子

### 児童手当(特例給付)現況届

毎年1回受給者自身が  
出さなければなりません

児童手当(特例給付)現況届について  
毎年一回すべての受給者自身が出す届です。この届は、受給者の前年の所得の状況と、六月一日現在の養育の状況などを毎

### 児童手当 しあわせのために 家庭と子どもの

昭和五十七年六月から昭和六十年五月までの間、被用者(厚生年金加入者)公務員、公共企業体の職員のうち、一定要件に該当する方に事業主の負担による特例給付が支給されることになっていきます。

特例給付は三年間の臨時的措施ですが、被用者家庭の生活の安定を図ることに、児童手当を補充する役割をもっています。

### 特例給付について

六月十三日(月)今泊、兼次 諸志、与那嶺、仲尾次  
六月十四日(火) 崎山、平敷 越地、仲宗根、玉城、呉我山  
六月十五日(水) 天底、勢理 客、渡喜仁、運天、上運天、湧川、古宇利

※受付時間―午前九時から午後四時まで

## 村内の美化にご協力を 6月5日~11日は環境週間です

六月五日から十一日までは「環境週間」です。科学技術の進歩発展は、私たちにとって経済的な発展をもたらしましたが、一方では生活環境の破壊を促しており、環境問題はますます深刻化しています。このような危機に頼した地球に対処するため、国連でも毎年六月五日を「世界環境デー」と定め、わが国でも六月五日を初日とする「環境週間」を設けています。村でも、県及び関係機関の協力を得て、次のとおり清掃運動を展開します。村民の皆さんがそれぞれの立場で環境問題を考え、公害防止、自然保護、環境の浄化にご協力いただくようお願いいたします。

### 清掃運動の内容

一、模範清掃日は六月十三日とし、学校、公民館、役場は環境衛生思想や意欲を高めるため模範清掃を実施する。

二、各字では、期間中に下排水、道路、海浜、観光地等の清掃を共同作業で実施する。

三、紙くず、空き缶、廃棄物を道路、農地帯に捨てないよう呼びかける。

四、土地や建物の所有者は、土地や家屋の清掃を行い清潔を保持する。

五、各家庭において大掃除を行い、ねずみや害虫等の発生源を除去する。

六、畜舎の清潔保持に努め、汚水はたれ流さないようにする。

○六月八日 環境衛生週間宣言  
○十三日 模範清掃日  
○十四日 一般清掃検査

## 税務課だより

### 固定資産税のあらまし

その2

課税標準額×税率=税額となります。上記の算式をもって、村の区域内に同一人が所有する土地、家屋、償却資産のそれぞれの課税標準額が次の金額に満たない場合には、固定資産税は課税されません。

- ### ○免税点
1. 土地 15万円
  2. 家屋 8〃
  3. 償却資産 100〃
- ### ○税率
- 固定資産税の税率は市町村の条例で定められ、税率は $\frac{1.4}{100}$ です。
- ### ○税率が決定しますと
- 税額等を記載した、納税通知書を納税者あてに通知します。
- ### ○納税のしくみ
- 固定資産税は、市町村の条例で定められた。納税(年4回)に分けて、納税していただきます。
- 1期→58年4月1日~4月30日、2期→7月1日~7月31日  
3期→12月1日~12月25日、4期→59年2月1日~2月末日

### ○納税通知書

納税通知書には、課税標準額、税率、税額、納期各納期における納付額、納付の場所のほか、納期限までに税金を納付しなかった場合の措置や、納税通知書の内容に不服がある場合の救済の方法等が記載されています。

## 玉城栄吉氏が 村育英会に50万円の寄附

字謝名の今帰仁診療所南側に「聖観世音菩薩像」を建立し、五月五日に開眼法要式を済ませた玉城栄吉氏(古宇利出身、大阪府吹田市在)は、七日村役場を訪れ、五十万円を村育英会に寄附されました。

玉城氏は、現在自宅を建築中

ですが、同地から多くの無縁仏が出たこともあり、菩薩像を建立したのも、今回の寄附は、それを記念したことに村に対する恩返し、とのことでした。

ご芳志感謝申し上げます。

育英会(寄附する玉城さん(右端)と建立された聖観世音菩薩(写真左)

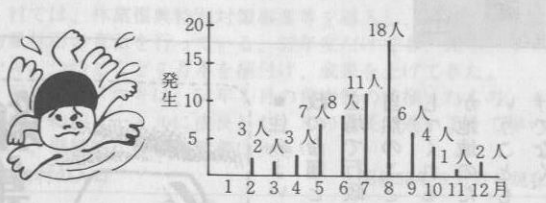


## ちょっと待て、ひとり泳ぎは事故のもと!

これから暑さも厳しくなり、水に親しむ季節を迎えます。水難事故を防止するため次の点に注意して水遊びをしましょう。

1. ひとりでは絶対に海や川へ行かない。
2. 水泳に行くときは行先、同行者、帰宅予定時刻を知らせておく。
3. 危険な場所、未知な区域では泳がない。

56年中の水難事故、月別発生状況 (資料:警察署)



## ※セリ市の変更について

6月からセリ市の日程が変わります。肉用牛セリは毎月16日の12時から(12月は6日)。また、子豚セリは毎月10日、26日の13時から行われます。



6月1日  
7月2日

# 村民カレンダー



6/1 水	○水道週間（～7日） ○心配ごと相談（13：00、中央公民館）	17 金	○日本脳炎予防接種（13：00～14：00、役場ホール）
2 木	○第38回球格技大会説明会（18：00、役場ホール）	18 土	○第17回職域野球大会（13：00、村営グラウンド他） ○健康相談（8：30～12：00、保健婦室）
3 金		19 日	○第17回職域野球大会（9：00、村営グラウンド他）
4 土	○各字子ども会、役員と指導者研修会（13：00、中央公民館） ○ホッケー教室（14：30、村営グラウンド）	20 月	○区長会（14：00、2階会議室） ○3歳児健診（13：00、役場ホール）
5 日	○バレー・バスケットボール大会（村青年会） ○ホッケー教室（9：00、村営グラウンド）	21 火	
6 月	○区長会（14：00、2階会議室） ○村公連役員会（16：00、中央公民館）	22 水	○社会教育委員会（14：00、中央公民館） ○心配ごと相談（13：00、中央公民館）
7 火	○日本脳炎予防接種（13：00～14：00、役場ホール） ○高齢者教室開講式（14：00、中央公民館）	23 木	○農業委員会総会（10：00、2階会議室） ○生花教室（14：00、上運天公民館）
8 水	○6月期児童手当支払 ○生花教室（14：00、中央公民館） ○心配ごと相談（13：00、中央公民館）	24 金	○1歳半健診（13：00～14：00、役場ホール）
9 木		25 土	○農協通常総会（14：00、役場ホール） ○ホッケー教室（14：30、村営グラウンド） ○健康相談（8：30～12：00、保健婦室）
10 金	○子豚セリ市（13：00、セリ市場） ○人権相談（10：00、中央公民館）	27 月	○第17回職域野球大会（9：00、村営グラウンド他） ○茶道教室（14：00、中央公民館） ○子豚セリ市（13：00、セリ市場）
11 土	○村内婦人リーダー研修会（村婦人会、12日まで） ○ホッケー教室（14：30、村営グラウンド）	28 火	○今小校区家庭教育学級開講式（14：00、今小）
12 日	○陸上記録会 ○茶道教室（13：00、中央公民館）	29 水	○中央婦人学級開講式（14：00、中央公民館） ○心配ごと相談（13：00、中央公民館）
13 月	○児童手当現況届（～15日）	30 木	○兼小家庭教育学級開講式（14：00、兼小） ○村県民税1期、国民年金保険料2期の納期 ○体育指導委員会（18：00、中央公民館）
14 火	○村P連役員会（15：00、中央公民館） ○海神祭（14：00、運天港）	7/1 金	
15 水	○心配ごと相談（13：00、中央公民館）	2 土	
16 木	○肉用牛セリ市（12：00、セリ市場） ○第17回職域野球大会申込締切（10：00、役場ホール） ○天小校区家庭教育学級開講式（14：00、天小）		

■ 住みよい村づくり、これは行政の命題ともいえる。住む人の立場で行政を進めることは至極当然のこと。しかし行政が何をしてくれるかでなく、住民個々が地域のために何を為せるかということも大切だろう。権利だけでなく、義務・責任という逆転の発想を一度おすすりめしたい。

■ 祖先から受け継いだ自然を守り育てる、とはよく聞く言葉だ。でも自然が豊富だという錯覚におぼれ、その大切さを忘れていくような気がする。今泊青年会や商工会青年部では、活動の一環として美化・植樹作業にのり出した。たとえ小さな輪でもその気持は尊い。これも住民ができる地域づくりの一つであろう。

■ これから行楽・海水浴シーズンが始まる。中南部に比べると村の自然はまた数段上。それを守るためにも、行楽地ではせめて後片づけくらいはしたいもの。奉仕でゴミを拾う人の身になれば、到底捨てる気にはなれない。

**編集後記**